

わたしたちの信仰の驚くべき基盤

ゴードン・B・ヒンクレー大管長

『リアホナ』2002年11月号, 80-81



わたしたちは、父なる神とその御子である主イエス・キリストが少年ジョセフ・スミスにその御姿を現されたことを、いささかの曖昧さもなく、はっきりと宣言します。……

……わたしたちの民の強さは、その示現が真実であることにあります。その出来事が実際に起きたか、起きなかったか、どちらかなのです。もし起きなかったとすれば、この業は間違っています。もし起きたのなら、天の下で、最も重要で最もすばらしい業ということになります。

兄弟姉妹、そのことについて考えてみてください。何世紀にもわたって、もろもろの天は封印されたままでした。善良な人々が、そうです、少なからぬ数の偉大ですばらしい人々が、その礼拝の方法や教義の体系を、正したい、強めたい、改善したいと努めてきました。わたしはそのような人々に心から敬意を表したいと思います。こうした人々の勇氣ある行動のおかげで、世界はどれほど良くなったことでしょうか。しかし、彼らの働きが靈感に導かれたものであると信じるものの、それでももろもろの天が開くまでには、あるいは神の現れを受けるまでには至りませんでした。

そして、1820年に、家庭用の聖書でヤコブの手紙からの一節を読んでいた少年の祈りにこたえて、あの栄光に満ちた現れがもたらされたのです。「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず、惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」(ヤコブの手紙1:5)

この比類のない、すばらしい経験に、この教会の真正さがかかっています。

宗教の歴史のあらゆる記録をひもといても、これに匹敵するものは存在しません。新約聖書には、イエスのバプテスマのとき、神の御声が聞こえて、聖霊が鳩の形をとって降られたと記録されています。変貌の山でも、ペテロとヤコブとヨハネが、目の前で御姿を変えられた主を見えています。3人とも御父の御声は聞きましたが、御姿を見ることはありませんでした。

なぜ御父と御子が御二方で、この年端もゆかぬ少年の前に御姿を現されたのでしょうか。一つには、あらゆる時代を通して最も大なる福音の神権時代を開始しようとされたからです。それまでの神権時代が全て集められ、一つに集約されることになったからです。……

この神の業を進めるうえで御手に使われる者となったのは、人の教えに心を乱されていなかった一人の少年でした。その心に

は汚れがなく、当時の伝統に従った教育も受けてはいませんでした。

人々がこの出来事を受け入れない理由は、容易に推測できます。それがほとんど理解を超えているからです。しかし、それでも、これは理にかなっています。旧約聖書に精通している人々は、あの比較的単純な時代に生活した預言者たちのもとにエホバが御姿を現されたことは認めています。それでは、そういう人々は、世界の歴史の中にあって、これほどまでに複雑な時代に、天の神と復活された御子の現れが必要であることを、論理的に否定できるのでしょうか。

御二方は確かに御姿を現され、ジョセフはまばゆい栄光に包まれた御二方をその目で見ました。また、御二方はジョセフに話しかけられ、ジョセフはその御声を聞き、その御言葉を記録に残しました。この類まれな出来事が真実であることを、わたしたちは証するものです。

わたしは、いわゆる知識人の一人が、この教会はその成り立ちにとらわれすぎていると言っているのを知っていました。わたしはそれにこう答えました。その成り立ちがなければ、わたしたちには何も残らないのです、と。あの歴史に例を見ない、驚くべき出来事こそ、わたしたちの信仰のいわば、軸となるものなのです。

しかし、この栄光に満ちた示現とて、その後に連綿と続く偉大な出来事の発端でしかありませんでした。こうした数々の現れが、この業の初期の歴史を形作っていったのです。

まるで、あの示現だけでは、人類の贖い主の特質と実在を証明するには不十分だったと言わなければ、続いてモルモン書がもたらされました。これは、人が実際にその手で持つことのできる証明であり、「持ち上げて」その重さを感じることでできるのです。人はそれを読むこともできます。それについて祈ることもできます。なぜなら、その中には、祈りによって証を求めらるならば、聖霊がその真実性について宣言してくださるという約束が書かれているからです。……

この後、神権の回復が続きます。まず、ヨルダン川でイエスにバプテスマを施した、バプテスマのヨハネの手によってアロン神権が回復されました。

それから、主の使徒であったペテロ、ヤコブ、ヨハネが訪れて、彼らがともに歩いた主の手によって受けていたものを、この時代に授けました。それが、地上でつないだものは天でもつなぐことができるという権能を伴った「天国のかぎ」だったので(マタイ16:19参照)。

この後、モーセ、エライアス、エリヤらの手によって、それ以外の神権の鍵も授けられました。

兄弟姉妹、それについて考えてみてください。この驚くべき出来事について考えてみてください。

この教会は、イエス・キリストの回復された教会です。わたしたちは一つの民として、末日聖徒と呼ばれています。わたしたちは、すでにもろもろの天は開かれ、幕が開き、神が語られ、イエス・キリストが御姿を現され、それに続いて神聖な権能が回復されたことを証します。

わたしたちは、すでにもろもろの天は開かれ、幕が開き、神が語られ、イエス・キリストが御姿を現されたことを証します。

